

緊急災害対策本部設置

被災地に復旧支援隊派遣

本山

本山は3月11日、宮城県三陸沖で発生した東北地方太平洋沖地震を受け、緊急災害対策本部（本部長＝橋正信総長）を設置。翌12日、東北、東京両教区に現地緊急災害対策本部を設置し、被災地域寺院の被害状況の把握に努めるとともに、葛谷英淳社会部長ら4人を第1次復旧支援隊として現地に派遣した。国内観測史上最大M9.0の大地震などによる被害報告は東北、東京、長野、国府各教区の193カ所からあり、宮城県石巻市や福島県南相馬市など東北教区では住職ら寺院関係者と連絡が取れない寺院が26カ所となっている。また、福島原発の影響もあり、同県双葉郡などで被災地に入れない状況も続いている（3月15日午前9時現在）。本山は被災地の一刻も早い復興を願い、災害義援金の募集を始めた。また、一時見舞金として3000万円を支出することを決めた（2面に総長談話）。

本山は11日、大地震 長を本部長とする緊急 設置。被害のあった東 害状況の情報収集と支 翌12日には東北教区 発生 の報告を受け、午 災害対策本部（中央本 北、東京両教区教務所 援に向けた対策などに 教務所（高田英彦教務 後4時50分に橋正信総 部）を本山・宗務所にと電話連絡を取り、被 全力を尽くしている。 所長・仙台市青葉区支 集を開始した。

被害が甚大な東北教 住職と坊守の希望で、 区へは、本山から第1 家族は支援隊のメンバ 次復旧支援隊を東北教 ーと共に仙台別院に移 区教務所に向け派遣。 った。

葛谷社会部長を隊長 福島県沿岸北部の相 に、食料や簡易トイレ、 馬市や双葉郡などで マスク、タオルなどの は、原発事故の影響で 支援物資を積み、車で 東京電力福島第1原発 午後3時40分に出発。 から半径20キロで避難指 翌13日未明に到着し、 示が発令されたため、 現地緊急災害対策本部 圈内の寺院には近づく と協議を行うことも ことができな。 に、宮城組内の寺院を 現地緊急災害対策本

倉町1-27）と東京教 見舞い、被災情報の収 区教務所（山本政秀教 集を行った。 務所長・東京都中央区 13日には第2次隊を 築地3-15-1）に、 派遣。食料や被災者宛 りるわけではなく、教区 それぞれ現地緊急災害 見舞状と見舞タオルな 内寺院から「常福寺（浪 対策本部を設置。一時 どの物資とともに午後 見舞金3000万円の 6時に本山を出発。15 交付を決定し、あわせ 日には第3次隊を東 家族全員無事とのメー て「東北地方太平洋沖 北、東京へそれぞれ派 情報に寄せられている。 地震災害義援金」の募 遣した。